シンポジウム・共催セミナーのご案内

シンポジウム 1　消化管疾患に対する診断と治療の up to date
会　場：第 2 会場
時　間：9：00 ～ 10：45
司　会：愛知県がんセンター　内視鏡部　田中　努
　　岐阜大学医学部附属病院　光学医療診療部　久保田全哉

シンポジウム 2　肝胆膵疾患に対する診断と治療の up to date
会　場：第 2 会場
時　間：14：40 ～ 16：35
司　会：名古屋大学医学部附属病院　石川　卓哉
　　岐阜大学医学部附属病院　第一内科　上村　真也

ランチョンセミナー 1　肝細胞癌薬物治療の最前線
会　場：第 1 会場
時　間：12：20 ～ 13：20
座　長：名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学　川嶋　啓揮
演　者：名古屋大学医学部附属病院 消化器内科　伊藤　隆徳
　　「肝細胞癌治療の新潮流　-CheckMate9DW が示す免疫療法の可能性 -」
演　者：岐阜県総合医療センター　入谷　壮一
　　「Cure をあきらめない肝細胞癌診療
　　～イピニボ時代のトータルマネジメント～」

ランチョンセミナー 2
会　場：第 2 会場
時　間：12：20 ～ 13：20
座　長：愛知医科大学　内科学講座　消化管内科　中村　正直
演　者：岐阜大学医学部附属病院 第一内科　増田　直也
　　「IBD 診療の現状とベルスピティの位置づけ
　　～当院の診療経験から考える潰瘍性大腸炎の治療選択～」
演　者：関西医科大学　内科学第三講座（消化器肝臓内科）　長沼　誠
　　「ベルスピティ錠の作用機序から考える UC の治療選択」

ランチョンセミナー 3　膵臓領域の未来に向けて～手術における私のこだわり～
会　場：第 3 会場
時　間：12：20 ～ 13：20
座　長：藤田医科大学　髙原　武志
演　者：岐阜大学　深田　真宏
「“ 次世代を育成する PD” と “ 次世代に継承する DP”」
演　者：名古屋市立大学　齊藤　健太
「ロボット支援膵頭十二指腸切除術の現在地と未来
―安全性と再現性の追求―」

アフタヌーンセミナー 1
会　場：第 2 会場
時　間：13：30 ～ 14：30
座　長：松波総合病院　光学診療センター、炎症性腸疾患センター
荒木　寛司
演　者：岐阜大学医学部附属病院 第一内科　小島健太郎
「粘膜治癒と QOL を見据えた潰瘍性大腸炎治療」
演　者：名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学　澤田つな騎
「クローン病小腸病変の予後改善に向けた取り組みとリサンキズマブの重要な役割」

アフタヌーンセミナー 2　胃がん周術期薬物療法
会　場：第 3 会場
時　間：13：30 ～ 14：30
座　長：中部国際医療センター　消化器がんセンター　山口　和也
演　者：岐阜大学大学院医学系研究科 臨床解剖開発学講座　安福　至
「MATTERHORN を登る
～臨床試験データが示す DFLOT 療法の道しるべ～」

スポンサードセミナー 1

会　場：第 2 会場

時　間：11：10 ～ 12：10

座　長：三重大学医学部附属病院ゲノム医療部　奥川　喜永

演　者：岐阜大学医学部附属病院がんセンター　牧山　明資

「なぜ大腸癌では血管新生阻害なのか？

― 治療シークエンスから考えるフルキンチニブ ―」

スポンサードセミナー 2　次世代を担うロボット大腸手術

～若手外科医の手技の実際とディスカッション～

会　場：第 3 会場

時　間：11：10 ～ 12：10

座　長：国立大学法人東海国立大学機構　名古屋大学大学院医学系研究科　小倉　淳司

国立大学法人三重大学　三重大学医学部附属病院　川村　幹雄

演　者：国立大学法人東海国立大学機構　岐阜大学医学部附属病院　横井　亮磨

公立大学法人　名古屋市立大学大学院医学研究科　澤井　美里

スポンサードセミナー 3　上部消化管癌に対する集学的治療

会　場：第 4 会場

時　間：11：10 ～ 12：10

座　長：藤田医科大学 総合消化器外科学講座　松岡　宏

演　者：名古屋大学大学院医学系研究科 消化器外科学　神田　光郎

「チスレリズマブの根治切除不能な進行・再発食道癌 / 治癒切除不能な進行・再発の胃癌における臨床的意義」

東海支部キャリア支援の会のご案内

会　場：第５会場
時　間：11：10 ～ 12：10

テーマ：『勧誘と教育 その 2』

司　会：岐阜大学医学部附属病院　丸田　明範
　　高山赤十字病院　白子　順子

「入局者Ｖ字回復の診療科に学ぶリクルート戦略　～産婦人科編～」
演　者：岐阜大学大学院医学系研究科　産科婦人科学　磯部　真倫

「教育こそが最良の勧誘である
　―医学生の意欲を引き出す外科実習と関わり方―」
演　者：岐阜大学医学部医学系研究科　消化器外科・小児外科学講座　畑中　勇治

「勧誘と教育～そこにジェネレーションギャップはあるか？～」
演　者：中部国際医療センター　消化器内科　手塚由佳里

第 32 回専門医セミナーのご案内

会　　場：第 1 会場
時　　間：11：10 ～ 12：10

テ ー マ：『食道がんセミナー』

司　　会：岐阜大学　消化器外科　　田中　善宏

症例提示：浜松医科大学　森町地域包括ケア講座　　坊岡　英祐
　　岐阜大学医学部附属病院　消化器外科　　佐藤　悠太

討 論 者：名古屋市立大学医学部附属西部医療センター　消化器外科　大久保友貴
　　愛知県がんセンター　　細井　敬泰
　　名古屋大学医学部附属病院　消化器・腫瘍外科　　清水　　大
　　岐阜県総合医療センター外科　　末次　智成

第 56 回教育講演会のご案内

会　場：第 1 会場
時　間：9：00 ～ 16：40

教育講演 1　9：00 ～ 10：00

司会：名古屋市立大学　消化器外科　瀧口　修司
「進行胃癌に対する集学的治療 Update
― 周術期治療から切除不能進行・再発まで ―」
岐阜大学大学院医学系研究科　臨床解剖開発学講座　安福　至

教育講演 2　10：00 ～ 11：00

司会：三重大学 大学院 消化管・小児外科学　問山　裕二
「大腸内視鏡検査の Quality Indicator」
岐阜大学医学部消化器内科学　髙田　淳

教育講演 3　14：40 ～ 15：40

司会：岐阜大学大学院消化器内科学　清水　雅仁
「肝細胞癌に対する薬物療法の最前線
―一次治療からシークエンス戦略まで―」
藤田医科大学　消化器内科　葛谷　貞二

教育講演 4　15：40 ～ 16：40

司会：三重大学　肝胆膵・移植外科　水野　修吾
「胆道癌に対する診断・治療の update」
藤田医科大学医学部　消化器内科　大野栄三郎

第 142 回市民公開講座のご案内

日　時：2026 年 11 月 15 日（日）　13：00 ～ 16：00
会　場：第 1 会場

消化器がんと運動

司　会：東京大学大学院総合文化研究科　河原ノリエ

【第一部】
『消化器がんと運動』
講師：岐阜大学大学院医学系研究科消化器外科・小児外科学　松橋　延壽

『がん予防についてのトークショー』
パネリスト：岐阜大学大学院医学系研究科消化器外科・小児外科学　松橋　延壽
東京大学大学院総合文化研究科　佐々木一茂
一般社団法人アジアがんフォーラム　田中　貴恵

【第二部】
『映画上映「Dr. カキゾエ　歩く処方箋　～みちのく潮風トレイルを往く～」』
ビデオメッセージ：公益財団法人　日本対がん協会　垣添　忠生

シンポジウム　プログラム・抄録

お断わり：原則的に講演者が入力したデータをそのまま掲載しておりますので、一部に施設名・演者名・用語等の表記不統一がございます。あらかじめご了承ください。

シンポジウム 1
「消化管疾患に対する診断と治療の up to date」

第 2 会場　　9:00 ～ 10:45

司会：愛知県がんセンター　内視鏡部　　田中　　努
岐阜大学医学部附属病院　光学医療診療部　　久保田全哉

S1-01　免疫チェックポイント阻害剤使用における楽観的思考が予後に与える影響の検討

岐阜大学医学部　消化器外科・小児外科

○田中　善宏、佐藤　悠太、畑中　勇治、三井　範基、遠藤　真英、洞口　岳、横井　亮磨、深田　真宏、浅井　竜一、安福　至、田島　ジェシー雄、松橋　延壽

S1-02　切除不能進行食道癌に対する免疫チェックポイント阻害薬併用化学療法後の化学放射線療法の検討

藤田医科大学　消化器内科

○杉山　聖、舩坂　好平、山田　日向、丸川　高弘、堀口　徳之、長坂　光夫、葛谷　貞二、宮原　良二、大野　栄三郎

S1-03　バレット食道腺癌の発生部位と His 角の関わり

[1] 浜松医科大学　内科学第一講座、[2] 浜松医科大学附属病院　光学医療診療部、
[3] 浜松医科大学　地域連携先端医療学講座、[4] 浜松医科大学附属病院　検査部

○乾　航[1]、山田　貴教[2]、平野　雄一[3]、志田　麻子[1]、丹羽　智之[1]、稲垣　圭佑[1]、江上　貴俊[1]、高橋　賢一[1]、伊藤　達弘[1]、高橋　悟[1]、尾上　峻也[1]、淺井　雄介[1]、石田　夏樹[1]、山出　美穂子[1]、濱屋　寧[1]、岩泉　守哉[4]、大澤　恵[3]、杉本　健[1]

S1-04　出血を伴う PPI/P-CAB 関連胃過形成性ポリープの臨床的特徴と経過

[1] 岐阜県総合医療センター　消化器内科、[2] 滋賀医科大学　病理学講座

○小澤　範高[1]、山崎　健路[1]、九嶋　亮治[2]、山内　和貴[1]、岩田　啓佑[1]、木村　明博[1]、佐竹　勇哉[1]、曽我　淳史[1]、山下　晃司[1]、清水　省吾[1]

S1-05　当院におけるリンパ球浸潤胃癌 50 例の臨床病理学的検討

日本赤十字社愛知医療センター　名古屋第一病院　消化器内科

○服部　陽介、藤吉　俊尚、土居崎　正雄、鷲見　肇、吉岡　直輝、原　啓文、野村　真希、坂本　旭美、川部　直人

S1-06　市中病院における胃癌診療の実態とゾルベツキシマブ導入初期成績
―胃癌 523 例の後方視的検討―

松波総合病院 消化器内科

○長尾　涼太郎、中西　孝之、荒木　寛司、大橋　瑞貴、神野　宏規、牧野　紘幸、淺野　剛之、向井　強、杉原　潤一、田上　真

S1-07 実臨床における HER2 陽性胃がんに対する T-DXd の有効性と安全性の検討

一宮西病院　腫瘍内科

○松本　俊彦、牧山　千夏

S1-08 85 歳以上の超高齢者に対する大腸 ESD の安全性と予後

岐阜大学医学部附属病院　消化器内科

○谷口　裕紀、高田　淳、大谷　毅一、増田　直也、美濃輪　大介、小島　健太郎、
大西　祥代、大西　紘太郎、久保田　全哉、白上　洋平、清水　雅仁

S1-09 潰瘍性大腸炎関連大腸腫瘍の病理診断における IMP3 免疫染色の有用性の検討

[1] 名古屋大大学院　消化器内科学、[2]JA 愛知厚生連　安城更生病院　消化器内科、
[3] 名古屋大大学院　臓器病態診断学、[4] 山下病院　病理診断科、
[5] 名古屋大学医学部附属病院　光学医療診療部

○小池　剛 [1]、石川　恵里 [1]、長谷川　一成 [2]、佐藤　啓 [3]、横井　太紀雄 [4]、山村　健史 [5]、
前田　啓子 [1]、澤田　つな騎 [1]、川嶋　啓揮 [1]

S1-10 当院における免疫チェックポイント阻害薬関連腸炎に関する単施設後方視的観察研究

名古屋市立大学院医学研究科　消化器代謝内科学

○金岩　弘樹、丸谷　祐香、管野　琢也、小島　悠揮、奥田　悠介、杉村　直美、田中　守、
志村　貴也、久保田　英嗣、片岡　洋望

シンポジウム 2
「肝胆膵疾患に対する診断と治療の up to date」

第 2 会場　　14:40 ～ 16:35

司会：名古屋大学医学部附属病院　　石川　卓哉
岐阜大学医学部附属病院　第一内科　　上村　真也

S2-01　切除不能急性胆嚢炎に対する EUS-GBD：中長期留置経過を含めた LAMS と PS 比較

[1] 松波総合病院、[2] 岐阜市民病院

○奥野　充[1]、奥野　充[1]、向井　強[1]、大橋　瑞貴[1]、神野　宏規[1]、牧野　紘幸[1]、
長尾　涼太郎[1]、岩佐　悠平[2]、岩田　圭介[2]、荒木　寛司[1]、田上　真[1]

S2-02　高齢胆道癌患者の治療継続を支えるリスク評価 -CARG スコアと胆道癌特有の課題 -

三重大学医学部附属病院　消化器肝臓内科

○山田　玲子、澤井　翔馬、浦田　美菜子、島田　康彬、野瀬　賢治、村林　桃士、
中川　勇人

S2-03　切除不能肝細胞癌に対するアテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法における治療開始時 PALBI score の予後予測能と病勢進行時の肝予備能との関連

[1] 春日井市民病院　消化器内科、[2] 名古屋市立大学大学院病院　消化器・代謝内科学、
[3] 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院　消化器内科、
[4] 岐阜県立多治見病院　消化器内科、[5]JCHO 中京病院　消化器内科

○水野　智之[1]、佐藤　椋[2]、鈴木　孝典[2]、松浦　健太郎[2]、林　克巳[3]、祖父江　聡[1]、
奥村　文浩[4]、長谷川　泉[5]、藤原　圭[2]、片岡　洋望[2]

S2-04　肝細胞癌に対する定位放射線治療の治療成績と肝予備能への影響

名古屋大学医学部附属病院　消化器内科

○岩田　憲吾、山本　健太、本多　隆、石津　洋二、伊藤　隆徳、横山　晋也、鈴木　貴也、
佐原　和規、松本　悠平、川嶋　啓揮

S2-05　複合免疫療法により 1 年以上の PFS が得られた切除不能肝細胞癌の臨床的特徴

藤田医科大学　消化器内科

○横山　忠弘、葛谷　貞二、大野　栄三郎

S2-06　IPMN 由来癌ならびに併存癌の診断を念頭おいた至適フォローアップ方法の策定

[1] 岐阜大学医学部附属病院　第一内科、[2] 岐阜市民病院　消化器内科、
[3] 岐阜県総合医療センター　消化器内科

○大橋　洋祐[1]、丸田　明範[1]、下城　宏太[1]、小泉　拓也[1]、岩田　翔太[1]、上村　真也[1]、
岩田　圭介[2]、三田　直樹[3]、清水　雅仁[1]

S2-07 切除不能進行膵癌に対する Gemcitabine + nab-paclitaxel 療法における 1 投 1 休スケジュール変更についての検討

[1] 岐阜市民病院 消化器内科、[2] 岐阜県総合医療センター、[3] 岐阜大学医学部附属病院　第一内科
○黒田　英孝[1]、岩田　圭介[1]、松波　幸寿[1]、岩佐　悠平[1]、三田　直樹[2]、市川　広直[2]、丸田　明範[3]、上村　真也[3]、清水　雅仁[3]

S2-08 高齢切除不能膵癌における G8 および CARG スコアの現状と評価導入による臨床的意義

岐阜県立多治見病院　消化器内科
○佐々木　謙、伊藤　伸、大川　悟史、竹中　翔也、加藤　圭、堀江　純平、足立　圭司、中嶌　大樹、濱田　祐輔、山田　直晃、蓑輪　彬久、福定　繁紀、加地　謙太、水島　隆史、奥村　文浩

S2-09 切除可能境界膵癌に対する GnP 単独療法と放射線併用療法による術前治療の比較

名古屋大学　消化器・腫瘍外科（肝胆膵）
○中川　暢彦、高見　秀樹、田中　晴祥、林　真路、尾上　俊介、水野　隆史、伊神　剛、江畑　智希

S2-10 内視鏡的胆道金属ステント留置後の膵癌に対する陽子線治療の臨床成績

[1] 静岡県立静岡がんセンター　消化器内科（胆膵）、
[2] 静岡県立静岡がんセンター　放射線・陽子線治療センター
○村松　丈児[1]、石渡　裕俊[1]、奥山　隆貴[1]、坂本　拡基[1]、大場　彬博[1]、原田　英幸[2]、村山　重行[2]

S2-11 当院における切除不能膵癌に対する包括的がんゲノムプロファイリング（CGP）検査についての後方視的検討

豊橋市民病院　消化器内科
○亀島　祐貴、鈴木　博貴、内藤　岳人、山田　雅弘、山本　英子、飛田　恵美子、山本　崇文、新田　紘一郎、社本　賢昭、松原　浩

一般演題　プログラム

お断わり：原則的に講演者が入力したデータをそのまま掲載しておりますので、一部に施設名・演者名・用語等の表記不統一がございます。あらかじめご了承ください。

一　般　演　題

第 3 会場　上部消化管　9:00 ～ 9:56

名古屋大学医学部附属病院　消化器・腫瘍外科　　杉田　静紀

01　術前にチルゼパチドによる減量が奏功し , 内視鏡下に修復し得た成人 Bochdalek 孔ヘルニアの 1 例

若手（専攻医）
岐阜大学医学部附属病院　消化器外科・乳腺外科・小児外科
○根尾　学、佐藤　悠太、深田　真宏、安福　至、田島　ジェシー雄、田中　善宏、松橋　延壽

02　特発性食道破裂に対する外科的治療戦略

名古屋市立大学大学院　医学研究科　消化器外科学
○林　祥平、小川　了、佐川　弘之、高阪　重行、辻　恵理、藤田　康平、伊藤　直、早川　俊輔、佐藤　怜央、瀧口　修司

03　食道癌術後胃管癌の治療成績

[1] 浜松医科大学医学部　外科学第二講座、
[2] 浜松医科大学医学部　森町地域包括ケア講座、
[3] 浜松医科大学医学部　周術期等生活機能支援学講座
○黒田　昂宏[1]、坊岡　英祐[1,2]、三須　敬太[1]、安本　周平[1]、境井　勇気[1]、関森　健一[1]、中村　俊太[1]、羽田　綾馬[1]、曽根田　亘[1]、菊池　寛利[1]、平松　良浩[1,3]、竹内　裕也[1]

04　胃壁外発育型粘膜下腫瘍を疑い緊急手術に至った器質化血腫の 1 例

若手（専攻医）
[1] 愛知医科大学病院　消化管内科、[2] 同　消化器外科
○齊藤　正基[1]、小野　聡[1]、白井　信太郎[2]、杉村　明佳音[1]、加藤　駿介[1]、田中　仁[1]、河村　達哉[1]、上田　翔[2]、足立　和規[1]、山口　純治[1]、山本　さゆり[1]、海老　正秀[1]、小笠原　尚高[1]、佐々木　誠人[1]、中村　正直[1]

05　CapeOX ＋ゾルベツキシマブ療法が奏効し Conversion surgery を施行した腹膜播種陽性 4 型胃癌の 1 例

若手（専攻医）
愛知医科大学病院　消化管内科
○長谷川　史歩、田代　崇、海老　正秀、杉村　明佳音、小野　聡、加藤　駿介、田中　仁、河村　達哉、足立　和規、山口　純治、小笠原　尚高、佐々木　誠人、中村　正直

06　BillrothII 法再建後の重症逆流性食道炎に対し、Roux-en-Y 再建への変更が著効した 1 例

若手（専攻医）
[1] 岐阜大学大学院医学系研究科 消化器外科・小児外科、
[2] 岐阜大学大学院医学系研究科 臨床解剖開発学講座
○河合　修作[1]、安福　至[2]、山本　一雄[1]、桐山　俊弥[1]、遠藤　真英[1]、深田　真宏[1]、浅井　竜一[1]、佐藤　悠太[1]、田島　ジェシー雄[1]、田中　善宏[1]、松橋　延壽[1]

07　発症早期に緊急手術で十二指腸部分切除術を施行した十二指腸水平部憩室穿孔の 1 例

若手（専攻医）
岐阜赤十字病院　外科
○大熊　祐輔、高井　一輝、高橋　啓、関野　誠史郎、木山　茂

08　胃 NET 経過観察中に黒色便を契機として発見し外科的切除し得た空腸 NET の 1 例

若手（専攻医）
愛知医科大学病院　消化管内科
○田中　雅樹、小野　聡、田代　崇、大西　賢多朗、杉村　明佳音、加藤　駿介、田中　仁、河村　達哉、足立　和規、山口　純治、山本　さゆり、海老　正秀、小笠原　尚高、佐々木　誠人、中村　正直

第 3 会場　上部消化管　10:01 ～ 10:50

岐阜市民病院　外科　　棚橋　利行

09　異なる治療方針を選択した家族性大腸腺腫症に合併した胃腺腫の 1 例

若手（研修医）
[1] 藤田医科大学病院　臨床研修センター、[2] 藤田医科大学　消化器内科、
[3] 藤田医科大学　先端光学診療学
○成田　多恵[1]、舩坂　好平[2]、堀口　徳之[2]、丸川　高弘[2]、山田　日向[2]、鎌野　俊彰[2]、平山　裕[2]、中野　尚子[2]、長坂　光夫[2]、葛谷　貞ニ[2]、宮原　良ニ[2]、大宮　直木[3]、大野　栄三郎[2]

10　腹部大動脈瘤に伴い上腸間膜動脈症候群を来した一例

JA 岐阜厚生連　中濃厚生病院
○加藤　尚仁、水谷　拓、三好　晃長、白鞘　愛、歌方　有貴、平下　祐生、伊藤　貴嗣、手塚　隆一、向井　美鈴、華井　頼子、山中　一輝、鈴木　祐介、戸田　勝久、白木　亮、白鳥　義宗、勝村　直樹

11　PCAB 内服下に酢酸亜鉛製剤による胃潰瘍を認めた 2 例

若手（専攻医）
岐阜市民病院　消化器内科
○郷　直樹、小木曽　富生、野中　晴斗、永井　綺、小鳥　雄平、小野　由季、黒田　英孝、嶋田　貴仁、岩佐　悠平、松波　幸寿、河内　隆宏、林　秀樹、岩田　圭介、杉山　昭彦、西垣　洋一

12　胃穹窿部 ESD 後に脾膿瘍を来した 1 例

若手　　岐阜大学医学部附属病院　消化器内科
（専攻医）　　○近藤　晃矢、谷口　裕紀、高田　淳、朝倉　麻由、平岡　新也、日野　孝彬、増田　直也、大谷　毅一、小瀬　直統、小島　健太郎、大西　雅也、大西　祥代、久保田　全哉、境　浩康、清水　雅仁

13　CLDN18.2 陽性切除不能進行胃癌に対する mFOLFOX6 + ゾルベツキシマブ療法後、conversion surgery により病理学的完全奏効が確認された 1 例

[1] 名古屋大学大学院　医学系研究科　消化器内科学、
[2] 名古屋大学医学部附属病院　光学医療診療部
○高橋　直也[1]、古川　和宏[1]、廣瀬　崇[2]、福沢　一馬[1]、押谷　由衣[2]、小藪　敬尋[1]、山村　健史[2]、川嶋　啓揮[1]

14　胃癌術後再発に対するニボルマブ投与後に irAE 心筋炎を発症した一例

若手　　社会医療法人宏潤会　大同病院　消化器内科
（専攻医）　　○沼口　弘生、名倉　明日香、長沼　龍青、鵜飼　剛史、齋藤　和輝、早瀬　太貴、吉田　和弘、柴田　萌、竹内　一訓、西川　貴大、野々垣　浩二

15　HER2 陽性胃癌に対して Trastuzumab + Pembrolizumab 併用化学療法を施行した 4 例

若手　　岐阜県総合医療センター　外科
（研修医）　　○蘭　翔太、末次　智成、長尾　成敏、片岡　基紘、宮川　詩央、宮崎　翔、大野　慎也、永田　幸聖、多和田　翔、岩田　至紀、田尻下　敏弘、小森　充嗣、田中　千弘、河合　雅彦、國枝　克行

第 3 会場　肝臓　14:40 ～ 15:29

岐阜市民病院　外科　　佐々木義之

16　アテゾリズマブ＋ベバシズマブ併用療法のみで CR を達成し、2 年間の無再発生存を得られた肝細胞癌患者の 1 例

若手　　西濃厚生病院　内科

（専攻医）　　○小森　拓馬、小森　拓馬、瀬川　高輝、鳥澤　宗一郎、伊藤　有紀、千住　明彦、馬場　厚、伊藤　陽一郎、井深　貴士、足立　政治、西脇　伸二

17　Nivolumab/Ipilimumab 併用療法と陽子線治療により著明な抗腫瘍効果が得られた高度門脈腫瘍栓を伴う肝細胞癌の 1 例

若手　　日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院

（研修医）　　○小川　紗矢音、野村　真希、吉岡　直輝、藤吉　俊尚、鷲見　肇、土居崎　正雄、川部　直人、山口　丈夫

18　ステロイド漸減中に免疫関連有害事象肝障害の再燃を認めた肝細胞癌の一例

若手　　[1] 愛知医科大学　卒後臨床研修センター、[2] 愛知医科大学　肝胆膵内科

（研修医）　　○勝野　誠也[1]、荒井　潤[2]、加藤　晴喜[2]、本多　旺次郎[2]、木本　慧[2]、都築　英資[2]、山田　沙樹[2]、二神　竣[2]、矢野　雅人[2]、北田　智也[2]、土井　拓矢[2]、北野　礼奈[2]、坂本　和賢[2]、井上　匡央[2]、伊藤　清顕[2]

19　経皮的ラジオ波焼灼療法後に右胃大網動脈から腹腔内出血をきたした肝細胞癌の 1 例

若手　　[1] 名古屋市立大学病院　総合研修センター、

（研修医）　　[2] 名古屋市立大学大学院　医学研究科　消化器・代謝内科学

○堂森　真帆[1]、佐藤　椋[2]、鈴木　孝典[2]、河村　逸外[2]、成田　幹誉人[2]、松浦　健太郎[2]、藤原　圭[2]、野尻　俊輔[2]、片岡　洋望[2]

20　破裂により腹膜播種を来した肝嚢胞腺癌の一例

若手　　総合病院中津川市民病院

（研修医）　　○柴田　燎平、西尾　亮、平尾　亮太、市川　毅留、山下　貴大

21　肝右三区域切除・横隔膜合併切除を施行した若年者肝腫瘍症例

若手　　名古屋大学医学部附属病院

（研修医）　　○大橋　羅良、砂川　真輝、水野　隆史、林　真路、尾上　俊介、高見　秀樹、渡辺　伸元、田中　晴祥、山田　美保子、栗本　景介、川上　章司、中川　暢彦、中村　正典、江畑　智希

22　Nivolumab + Ipilimumab 投与中に HCV-RNA の陰性化を認め，irAE に対するステロイド治療後に HCV-RNA 再上昇を来した MSI-High 大腸癌肝転移の 1 例

若手　[1]社会医療法人蘇西厚生会　松波総合病院　外科・消化器外科、
（研修医）　[2]社会医療法人蘇西厚生会　松波総合病院　消化器内科
○高山　恵介[1]、中島　拓哉[1]、熊崎　祐希[1]、岩佐　友寛[1]、川尻　真菜[1]、東　敏弥[1]、
栃井　航也[1]、木村　真樹[1,2]、杉原　潤一[2]、松波　英寿[1]

第 3 会場　肝臓　15:34 ～ 16:23

名古屋大学医学部附属病院　　川勝　章司

23　胸焼けを契機に発見され自然消退により症状改善した巨大肝嚢胞の一例

若手　済生会松阪市民病院
（研修医）　○中島　良国、西脇　亮、高野　純礼、蓮見　伊織、藤部　幸大

24　*Fusobacterium nucleatum* による多発性化膿性肝膿瘍の 1 例

若手　[1]磐田市立総合病院　消化器内科、[2]磐田市立総合病院　肝臓内科
（専攻医）　○渡邉　文敬[1]、金子　淳一[1]、高橋　春奈[1]、鈴木　大二郎[1]、西澤　航平[1]、
池田　慎也[1]、大津　卓也[1]、山中　力行[1]、瀧浪　将貴[1]、高橋　百合美[2]、
笹田　雄三[2]、田村　智[1]

25　多発肝膿瘍を契機に発見された小腸腫瘍の 1 例

若手　特定医療法人同心会　遠山病院　外科
（専攻医）　○前村　果穂、井上　靖浩、小林　紗依、杉政　奈津子、濱口　哲也、野地　みどり、
竹内　謙二、伊藤　佳之、加藤　俊夫

26　腹水穿刺後遅発性腹壁血腫に対して緊急経カテーテル的動脈塞栓術が奏功した 1 例

若手　豊橋市民病院
（専攻医）　○伊藤　康貴、山本　崇文、内藤　岳人、山田　雅弘、山本　英子、鈴木　博貴、
飛田　恵美子、新田　紘一郎、社本　賢昭、亀島　祐貴、佐久間　智大、
佐野　暢彦、田中　佑典、加藤　賢人、竹中　優成、平山　沙絵、水落　麻由、
松原　浩

27　下腸間膜静脈 - 左卵巣静脈シャントによる猪瀬型肝性脳症に対してシャント塞栓術が有効であった 1 例

若手　[1]公立西知多総合病院　消化器内科、[2]公立西知多総合病院　放射線診断科、
（専攻医）　[3]名古屋市立大学病院　放射線診断・IVR 科
○小出　優奈[1]、鈴木　悠土[1]、石川　達人[1]、齊藤　玄己[1]、加古　雄基[1]、
山本　崇史[1]、竹山　友章[1]、上岡　久人[2]、鈴木　一史[3]

28　外科的切除と保存的加療という異なる転機を辿った門脈系静脈瘤の2症例

若手　岐阜大学医学部附属病院
（専攻医）　○菱田　昂太朗、外村　俊平、三井　範基、洞口　岳、深田　真宏、横井　亮磨、鷹尾　千佳、浅井　竜一、佐藤　悠太、安福　至、田島ジェシー　雄、田中　善宏、松橋　延壽

29　Durvalumab 維持療法中に画像上 Complete Response に至り，長期維持している肝転移合併下部胆管癌の一例

若手　済生会松阪総合病院
（研修医）　○倉田　幹大、黒田　直起、脇野　翼、稲見　健汰、小野　隆裕、紅林　真理絵、田原　雄一、福家　洋之、青木　雅俊、河俣　浩之、脇田　喜弘、橋本　章、清水　敦哉

第 4 会場　下部消化管 1　9:00 ～ 9:49

岐阜県総合医療センター　外科　　岩田　至紀

30　大網ー小腸間膜間バンドによる絞扼性腸閉塞を発症した 14 歳男児の 1 例

若手　　JA 岐阜厚生連　岐阜・西濃医療センター　西濃厚生病院　外科
（専攻医）　　○立川　直大、坂本　倫太郎、高井　絢子、服部　公博、水野　万知、櫻谷　卓司、池庄司　浩臣、西尾　公利、飯田　辰美、高橋　孝夫

31　絶食のみで保存的加療し得た特発性気腹症の 1 例

JA 岐阜厚生連　岐阜・西濃医療センター　西濃厚生病院　外科
○坂本　倫太郎、立川　直大、高井　絢子、服部　公博、水野　万知、櫻谷　卓司、池庄司　浩臣、西尾　公利、飯田　辰美、高橋　孝夫

32　当科において経験した腸管気腫症の 8 例

若手　　多治見市民病院
（研修医）　　○稲田　京子、山田　成寿、竹内　啓将、渡邉　卓、加藤　浩樹

33　大腸憩室に嵌頓した義歯に対して腹腔鏡下異物摘出術を施行した 1 例

尾鷲総合病院　外科
○留奥　賢、前田　光貴、山川　紗季

34　ADL 低下を伴う高齢者に発症した糞便性潰瘍による直腸穿孔の症例検討

若手　　[1] 名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院　消化器内科、
（専攻医）　　[2] 名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院　消化器外科
○高細　旭[1]、西江　裕忠[1]、山村　文乃[1]、佐藤　椋[1]、鈴木　健人[1]、山崎　礼雄[2]、中屋　誠一[2]、若杉　健弘[2]、内藤　格[1]

35　大腸悪性狭窄に対するステント留置後に遅発性穿孔をきたした一例

若手　　静岡県立総合病院
（専攻医）　　○高野　優衣、佐藤　佑樹、若林　輝、吉田　裕太、小林　優介、田保　友輔、發田　萌里、前田　智美、坂口　航輝、引地　智基、馬場　皓大、増井　雄一、松田　昌範、川合　麻美、吉田　将雄、遠藤　伸也、白根　尚文、黒上　貴史、川口　真矢、大野　和也

36　経皮的および経肝的アプローチにより血管塞栓術を施行した傍ストマ静脈瘤の 2 例

岐阜大学　医学部　附属病院

○鷹尾　千佳、菱田　昴太朗、外村　俊平、杉江　雄斗、横井　亮磨、水谷　千佳、浅井　竜一、田島　ジェシー雄、松橋　延壽

第 4 会場　下部消化管 1　9:54 ～ 10:43

岐阜市民病院　外科　　八幡　和憲

37　盲腸軸捻転に対する腹腔鏡下手術の治療戦略 ―術式選択の検討を含めた 2 例報告―

名古屋市立大学大学院　消化器外科学

○楠戸　夏城、山川　雄士、牛込　創、鈴木　卓弥、加藤　瑛、上原　崇平、浅井　宏之、澤井　美里、瀧口　修司

38　腸閉塞を繰り返した原発性小腸軸捻転症に対する待機的腸間膜固定術の 1 例

若手（専攻医）

[1] 岐阜県立下呂温泉病院　外科、[2] 下呂市立金山病院　外科

○河原　樹 [1]、天岡　望 [1]、日野　眞子 [1]、松友　寛和 [1]、岩田　幸太郎 [2]、安村　幹央 [2]

39　閉鎖孔ヘルニア嵌頓に対して徒手整復後に待機的に 3D 形状の mesh を用いて TAPP を行った 1 例

岐阜市民病院　外科

○池野　玄、河合　純兵、石原　優圭、藤林　勢世、田中　秀治、今井　健晴、佐野　仁哉、丹羽　真佐夫、棚橋　利行、八幡　和憲、佐々木　義之、奥村　直樹、山田　誠

40　Pagetoid spread を呈した肛門管腺癌に対して 2 度の追加切除を経て根治切除を達成した 1 例

若手（専攻医）

愛知医科大学病院　消化器外科

○浅野　瑠水、國友　愛奈、松村　卓樹、安井　講平、余語　孝乃助、戸田　瑶子、大岩　立学、深見　保之、金子　健一郎、安藤　公隆、大澤　高陽、篠原　健太郎、上田　翔、福山　貴大、倉橋　岳宏、白井　信太郎、川瀬　康平、本村　理子

41　膿瘍形成を伴う切除困難な局所進行直腸癌に対して化学療法施行後、ロボット支援下ハルトマン手術を施行し根治切除が得られた 1 例

厚生会　中部国際医療センター

○小木曽　友佑、太和田　昌宏、横井　恒樹、山田　遼、久野　真史、小久保　健太郎、齋藤　史朗、坂下　文夫、仁田　豊生、山口　和也

42　虫垂開口部病変に対する協働型助手ロボット ANSUR を用いた腹腔鏡・内視鏡合同手術（LECS）の 2 例

[1] 名古屋市立大学病院　消化器外科、[2] 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター
○浅井　宏之[1]、山川　雄士[1]、澤井　美里[1]、加藤　潤紀[1]、上原　崇平[1]、加藤　瑛[1]、鈴木　卓弥[1]、牛込　創[1]、高橋　広城[2]、瀧口　修司[1]

43　上行結腸・直腸同時性多発大腸癌に対してロボット支援下右半結腸切除術・直腸切断術を一期的に施行した一例

若手（専攻医）　中部国際医療センター　外科
○横井　恒樹、小久保　健太郎、山田　遼、小木曽　友佑、久野　真史、太和田　昌宏、齋藤　史朗、坂下　文夫、仁田　豊生、山口　和也

第 4 会場　下部消化管 2　14:40 ～ 15:29

岐阜大学大学院医学系研究科　先端ゲノム医療開発学講座・消化器外科　　浅井　竜一

44　グセルクマブ導入後早期に回腸皮膚瘻の閉鎖を認めたクローン病の 1 例

若手　　三重大学医学部附属病院　消化管・小児外科
（専攻医）　　○内山　耀、大北　喜基、志村　匡信、山本　晃、川村　幹雄、今岡　裕基、
北嶋　貴仁、奥川　喜永、吉山　繁幸、大井　正貴、問山　裕二

45　高安動脈炎を合併したクローン病の一例

若手　　西濃厚生病院　初期研修医
（研修医）　　○木間　眞、井深　貴士、瀬川　高輝、小森　拓馬、鳥澤　宗一郎、伊藤　有紀、
千住　明彦、馬場　厚、足立　政治、西脇　伸二

46　メサラジンによる肉芽腫性間質性腎炎をきたした潰瘍性大腸炎の 1 例

若手　　四日市羽津医療センター
（専攻医）　　○鹿島　七洋、下山　貴寛、青田　紗季、森田　翔一、阪口　亮平、山本　隆行

47　オザニモドが有効であった既存治療抵抗性潰瘍性大腸炎の 2 症例

若手　　独立行政法人地域医療機能推進構造　中京病院
（専攻医）　　○山田　由佳、尾関　啓司、渡邊　真鈴、北田　智也、清水　典久、佐橋　秀典、
鈴木　恵里奈、高口　裕規、井上　裕介、日下部　篤宣、長谷川　泉

48　アメーバ性大腸炎発症後に潰瘍性大腸炎が再燃したと考えた症例

若手　　[1] 静岡県立総合病院　消化器内科、[2] 静岡県立総合病院　臨床検査科、
（専攻医）　　[3] 静岡県立総合病院　病理診断科
○田保　友輔 [1]、松田　昌範 [1]、發田　萌里 [1]、小林　優介 [1]、若林　輝 [1]、佐藤　佑樹 [1]、
坂口　航輝 [1]、前田　智美 [1]、引地　智基 [1]、馬場　皓大 [1]、大城　真実 [1]、
増井　雄一 [1]、川合　麻美 [1]、遠藤　伸也 [1]、伊藤　健太 [2]、鈴木　誠 [3]、黒上　貴史 [1]、
白根　尚文 [1]、川口　真矢 [1]、大野　和也 [1]

49　当院における潰瘍性大腸炎に対するオザニモド初期使用経験

山下病院
○小林　健一、山下　彩子、泉　千明、菊池　正和、松崎　一平、杉山　和久、
服部　昌志、乾　和郎

50　免疫チェックポイント阻害薬関連大腸炎に類似したEZH1/2阻害薬関連大腸炎の1例

[1]岐阜県総合医療センター　消化器内科、[2]滋賀医科大学医学部　病理学講座
○岩田　啓佑[1]、山崎　健路[1]、九嶋　亮治[2]、小澤　範高[1]、関口　佑輔[1]、
長谷部　那江[1]、山内　和貴[1]、木村　明博[1]、佐竹　勇哉[1]、曽我　淳史[1]、
山下　晃司[1]、市川　広直[1]、三田　直樹[1]、入谷　壮一[1]、末次　淳[1]、高井　光治[1]、
清水　省吾[1]

第4会場　下部消化管2　15:34 ～ 16:23

岐阜大学医学部医学系研究科　消化器外科・小児外科学　　田島ジェシー雄

51　左眼転移を来した進行直腸癌

若手（専攻医）　岐阜県総合医療センター
○片岡　基紘、大野　慎也、岩田　至紀、田中　千弘、宮川　詩央、宮崎　翔、
永田　幸聖、多和田　翔、末次　智成、田尻下　敏弘、小森　充嗣、長尾　成敏、
河合　雅彦、國枝　克行

52　脳転移を伴う上行結腸印環細胞癌の一例

[1]紀南病院　内科、[2]熊野市立紀和診療所
○池田　昂平[1,2]、新田　淳[1]、北出　卓[1]

53　治療抵抗性で予後不良であったHER2陽性・BRAF変異を併存した盲腸癌術後多発肝転移の1例

岐北厚病院　外科
○王　ベイ、高野　仁、井川　愛子、徳山　泰治、石原　和浩

54　多発肝転移を伴うBRAF陽性S状結腸癌に対してEC+FOLFOXを導入した1例

若手（専攻医）　岐阜県総合医療センター　外科
○宮崎　翔、岩田　至紀、田中　千弘

55　ICIに対して異なる治療反応性を示したdMMR/MSI-H結腸癌の2例

若手（専攻医）　刈谷豊田総合病院
○宮池　哲郎、廣川　高久、山田　拓実、平野　直樹、島田　雄太、加藤　龍太郎、
藤井　善章、上野　修平、佐藤　崇文、青山　佳永、木村　昌弘、田中　守嗣

56　進行大腸癌化学療法中に出現した乳び腹水に対して MCT オイルを併用した栄養管理療法が奏功した 1 例

若手（専攻医）　岐阜県立多治見病院
○伊藤　伸、中嶌　大樹、大川　悟史、竹中　翔也、加藤　圭、堀江　純平、足立　圭司、佐々木　謙、濱田　祐輔、山田　直晃、蓑輪　彬久、福定　繁紀、加地　謙太、水島　隆史、奥村　文浩

57　公共データベースを活用した大腸がん miRNA 発現の網羅的解析と自施設検体を用いた検証

総合大雄会病院　外科
○野中　健一

第5会場　膵臓　9:00 ～ 9:49

三重大学　　早﨑　碧泉

58　完全型膵管癒合不全による反復性膵炎に対し、内視鏡的副乳頭切開術と脱落型膵管ステント留置が有用であった1例

若手　　岐阜県総合医療センター　消化器内科

（専攻医）　　○関口　佑輔、清水　省吾、山崎　健路、高井　光治、末次　淳、小澤　範高、入谷　壮一、三田　直樹、市川　広直、山下　晃司、曽我　淳史、岩田　啓佑、木村　明博、佐竹　勇哉、山内　和貴、長谷部　那江

59　自己免疫性膵炎による胆道狭窄に対して胆管バルーン拡張術でステントフリーをなし得た1例

若手　　春日井市民病院　消化器内科

（専攻医）　　○大久保　賢宗、高田　博樹、内田　智之、稲垣　貴文、祖父江　雅也、水野　智之、山原　絵里花、山本　友輝、豊原　祥資、水野　裕介、池内　寛和、西垣　信宏、祖父江　聡

60　右膿胸の治療経過中に診断した無症状の主膵管破綻症候群の1例

若手　　済生会松阪市民病院

（研修医）　　○冨田　康平、西脇　亮、高野　純礼、蓮見　伊織、藤部　幸大

61　CFTR 遺伝子異常由来の遺伝性膵炎の1家系

若手　　[1]名古屋市立大学　医学部　附属東部医療センター　消化器内科、

（専攻医）　　[2]名古屋市立大学　医学部　附属東部医療センター　消化器外科、

[3]名古屋市立大学　医学部　消化器・代謝内科学

○藤井　裕孝[1]、内田　歩実[1]、山村　文乃[1]、中川　直樹[1]、塩沢　明里[1]、金子　智文[1]、田村　洋樹[1]、神谷　昌宏[1]、猪飼　千咲[1]、庄田　怜加[1]、中川　真里絵[1]、荒木　幸子[1]、林　則之[1]、神野　成臣[1]、小島　尚代[1]、伊藤　恵介[1]、社本　智也[2]、松尾　洋一[2]、堀　寧[3]、林　香月[1]

62　Walled-off necrosis（WON）形成により絞扼性腸閉塞を発症した一例

若手　　一宮西病院　消化器内科

（専攻医）　　○竹内　一真、河野　通史、荒井　祐人、木村　龍平、伊藤　友一朗、宮崎　聖大、森山　智仁、熊原　加奈、百々　弘樹、林　晋太郎、與儀　竜治、堀　圭介、矢田　雅佳、東　玲治、森　昭裕

63　INI1 発現消失を認めた肉腫様未分化癌成分を伴う膵粘液性嚢胞腺癌の 1 例

若手　　三重大学医学部附属病院 肝胆膵・移植外科

（専攻医）　　○山路　隆斗、早崎　碧泉、瀬木　祐樹、小松原　春菜、伊藤　貴洋、尭天　一亨、飯澤　祐介、藤井　武宏、種村　彰洋、村田　泰洋、栗山　直久、岸和田　昌之、水野　修吾

64　小硬化膵に対して膵非再建で膵内分泌機能を維持し得た膵頭部癌の一例

名古屋大学医学部附属病院　消化器・腫瘍外科

○伊藤　将一朗、中川　暢彦、中村　正典、栗本　景介、川勝　章司、山田　美保子、田中　晴祥、渡辺　伸元、砂川　真輝、高見　秀樹、尾上　俊介、林　真路、水野　隆史、伊神　剛、神田　光郎、江端　智希

第 5 会場　膵臓　9:54 ～ 10:43

名古屋市立大学大学院医学研究科　消化器・代謝内科学　　堀　　寧

65　膵漿液性嚢胞腫瘍の長期経過観察中に通常型膵管癌を併発した 2 例

若手　　静岡県立総合病院　消化器内科

（専攻医）　　○小林　優介、川口　真矢、發田　萌里、若林　輝、田保　友輔、前田　智美、坂口　航輝、佐藤　佑樹、引地　智基、馬場　晧大、大城　真実、増井　雄一、松田　昌範、川合　麻実、吉田　将雄、遠藤　伸也、白根　尚文、黒上　貴史、大野　和也

66　再燃をくり返すステロイド依存性 1 型自己免疫性膵炎に対しイネビリズマブが奏功した 1 例

若手　　名古屋市立大学医学部附属西部医療センター

（専攻医）　　○松尾　智、大島　忠之、土田　研司、森　義徳、近藤　啓、北川　美香、今津　充季、中井　俊介、橋本　真耶佳、服部　智子、森島　陽、野村　朗弘、酒井　崇

67　膵神経内分泌腫瘍と鑑別を要した傍神経節腫の 1 例：術前病理診断のピットフォール

若手　　[1] 三重大学医学部附属病院　消化器・肝臓内科、

（専攻医）　　[2] 三重大学医学部附属病院　肝胆膵・移植外科

○世古口　恵美加[1]、山田　玲子[1]、澤井　翔馬[1]、浦田　美菜子[1]、島田　康彬[1]、野瀬　賢治[1]、村林　桃士[1]、村田　泰洋[2]、水野　修吾[2]、中川　勇人[1]

68　膵頭部腫瘤に2回のEUS-FNAでびまん性大細胞型B細胞性リンパ腫と診断した1例

[1]浜松医療センター　肝臓内科、[2]浜松医療センター　消化器内科
○大庭　行正[1]、彦坂　圭介[2]、鈴木　貴皓[1]、綿引　萌花[1]、竹内　悠[1]、樋口　友洋[1]、谷　伸也[1]、鈴木　安曇[1]、栗山　茂[1]、影山　富士人[2]、金岡　繁[1]

69　ACTHおよびガストリン産生を伴う機能性膵神経内分泌腫瘍にpeptide receptor radionuclide therapyが奏効した1例

若手（専攻医）　静岡県立総合病院 消化器内科
○吉田　裕太、川口　真矢、小林　優介、若林　輝、發田　萌里、田保　友輔、前田　智美、坂口　航輝、佐藤　祐樹、引地　智基、馬場　晧大、大城　真実、増井　雄一、松田　昌範、川合　麻美、吉田　将雄、遠藤　伸也、白根　尚文、黒上　貴史、大野　和也

70　ベルズチファン導入後に多発膵神経内分泌腫瘍の縮小を認めたvon Hippel-Lindau病の1例

若手（専攻医）　名古屋市立大学大学院　医学研究科　消化器・代謝内科学
○西井　比呂、堀　寧、吉田　道弘、加藤　晃久、羽根田　賢一、安達　明央、小田　佳世子、鬼頭　佑輔、浦壁　憲司、森　俊敬、原田　貴仁、冨田　優作、片岡　洋望

71　急速な経過を辿ったG-CSF産生多型細胞型退形成膵癌の1剖検例

若手（専攻医）　[1]沼津市立病院　消化器内科、[2]沼津市立病院　臨床検査科、[3]静岡県立静岡がんセンター　病理診断科
○山中　聡人[1]、小暮　禎祥[1]、金田　幸枝[2]、江口　正信[2]、加藤　生真[3]、辻川　直輝[1]、金澤　正治[1]、吉田　匡克[1]、金城　佳緒里[1]、藤本　健太郎[1]、杉村　薫[1]、藤田　尚人[1]、中川　彰彦[1]、宮城島　大輔[1]、久保田　教生[1]、菊池　保治[1]、篠崎　正美[1]

第 5 会場　胆道　14:40 ～ 15:48

岐阜大学医学部附属病院　消化器外科　　深田　真宏

72　胆嚢捻転症との鑑別に苦慮した絞扼性胆嚢炎の 1 例

若手　　大垣市民病院　臨床研修センター
（研修医）　　○角田　博政、高山　祐一、前田　敦行、伊藤　喜介

73　セフトリアキソン投与後に総胆管結石を来した偽胆石症の 1 例

名古屋大学大学院医学系研究科　消化器内科学
○加納　佑一、石川　卓哉、山雄　健太郎、水谷　泰之、飯田　忠、高田　善久、
青井　広典、熊野　良平、堤　克彦、小木曽　拓也、越山　彩香、平野　智也、
稲掛　優介、川嶋　啓揮

74　胆管走行異常を伴う PTGBD 留置後胆石性胆嚢炎に対して、ICG 蛍光法を用いた術中胆道造影により胆管損傷を回避できた一例

若手　　高山赤十字病院
（研修医）　　○清田　倫太郎、北垣　博基、福田　萌、小塩　英典、森川　あけみ、
福井　貴巳

75　当院における経口胆道鏡の臨床的使用状況と安全性の検討

名古屋市立大学大学院医学研究科　消化器・代謝内科学
○冨田　優作、吉田　道弘、原田　貴仁、森　俊敬、浦壁　憲司、鬼頭　佑輔、
安達　明央、小田　佳世子、羽根田　賢一、加藤　晃久、堀　寧、片岡　洋望

76　高齢者 ERCP における NHF の有用性についての検討

高山赤十字病院　内科
○小出　香里、白子　順子、久保　大樹、元田　晴伸、前田　俊英、今井　奨、
松下　知路

77　Stage IA 偶発胆嚢癌局所再発に対し，集学的治療後に再切除し得た 1 例

若手　　岐阜県総合医療センター
（研修医）　　○青木　稜河、多和田　翔、小森　充嗣、河合　雅彦、宮崎　翔、大野　慎也、
末次　智成、岩田　至紀、田中　千弘、長尾　成敏

78　胆管内再発をきたした胆管内限局肝細胞癌の１例

若手　　豊橋市民病院　消化器内科
（専攻医）　　○水落　麻由、鈴木　博貴、内藤　岳人、山田　雅弘、山本　英子、飛田　恵美子、
山本　崇文、新田　紘一郎、社本　賢昭、亀島　祐貴、佐久間　智大、佐野　暢彦、
田中　佑典、加藤　賢人、伊藤　康貴、竹中　優成、平山　沙絵、松原　浩

79　十二指腸乳頭部癌術後再発に対してデュルバルマブ併用免疫化学療法を行い長期生存した一例

若手　　藤田医科大学　医学部　総合消化器外科
（研修医）　　○山田　祐太

80　十二指腸前門脈を伴う遠位胆管癌に対する術前血管シミュレーションに基づく手術戦略

若手　　[1] 名古屋市立大学医学部附属東部医療センター　消化器外科、
（研修医）　　[2] 名古屋市立大学医学部附属東部医療センター　消化器内科
○門野　懸嗣[1]、原田　真之資[1]、佐藤　菜生[1]、重森　春花[1]、奥山　晃世[1]、
山本　誠也[1]、中島　亮[1]、渡部　かをり[1]、社本　智也[1]、志賀　一慶[1]、
田中　達也[1]、金子　智文[2]、神野　成臣[2]、林　香月[2]、松尾　洋一[1]